

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2022年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行われる。

2 競技場の使用について

- (1) ウォーミングアップは、レクリエーション広場を最終種目の招集開始時刻まで使用できる。また、競技に支障の無い範囲で、北陸上競技場を使用してもよい。
ただし、競技に支障があると判断した場合には、使用に関して競技役員から指示を行う。
- (2) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。レクリエーション広場、近隣の公園、競技場周辺等では投てき練習は絶対に行わない。
- (3) 大会開始前のウォーミングアップは、大会の準備に支障のない範囲で、北陸上競技場を使用できる。ホームストレートや競技が行われる場所については、競技開始時刻の10分前から使用を禁止する。
- (4) 救護本部はパロマ瑞穂北陸上競技場内1階医務室に設置する。

3 競技者の招集について

- (1) 招集所は、200mスタート付近倉庫に設ける。
- (2) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前 ※棒高跳 70分前	30分前 ※棒高跳 60分前

(3) 招集の手順について

- ① 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受けること。その際、競技役員にアスリートビブスの確認を受ける。(また、携帯電話や通信機器及び音楽再生機器等は持ち込めない)
- ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。

4 競技運営について

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- (2) 予選におけるトラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、主催者が公平に抽選し、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の準決勝以降とフィールド競技の決勝については、主催者が公平に抽選し、その結果を番組編成掲示板に掲示する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権があった場合は、そのレーンは空ける。
- (4) 掲示方法は写真判定(1/100秒)とする。タイムによる決勝進出者の決定について、同記録(1000分の1)があり、レーン数が不足するときは、抽選(競技規則TR21)を行う。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスにより10分以内に本部へ集合する。進出決定者の発表は、アナウンスで行う。
- (5) 本競技会は、不正スタート1回失格を適用する競技会として実施する。(競技規則 TR16.7)
- (6) スタートの合図は英語とする。(「On Your Marks」「Set」)
- (7) 短距離では事故防止のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (8) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示に従うこと。

5 競技場の入退場について

- (1) 入退場は係の指示に従い、北側または南側の出入り口より入場することができる。
- (2) 競技場への入場は、出場種目の競技開始の2時間前を原則とする。
- (3) 再入場は、出入り口でアスリートビブスを見せて入場する。

6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは配付されたままの大ききでユニフォームの胸・背部に確実につける。
- (2) 800m以上の長さのトラック種目に出場する競技者は、招集時に腰ナンバーカード(ビブス)標識を貸与する。
ランニングパンツ左右の上部やや後方につけること。(招集時に受け取り、終了後直ちに係に返却する。)

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

	練習	1	2	3	4	5	6	7
男子走高跳	1.50/1.70	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	以降 3cm
女子走高跳	1.30/1.50	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	以降 3cm
男子棒高跳	フリー	2.30	2.50	2.70	2.90	3.10	3.30	以降 10cm
女子棒高跳	フリー	1.80	2.00	2.20	2.40	2.60	2.80	以降 10cm

練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。競技者は、その時間内で競技役員の指示のもと自由に練習してよい。

- ① 走高跳・棒高跳は、最後の1人になり優勝が決まるまでは、上表の上げ幅を変えてはならない。
- ② 第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm きざみとする。
- ③ 練習の高さを2段階に設定し、希望により実施できるものとする。

8 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールに限り個人所有のものを使用することができる。
- (2) フィールド競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。2個まで使用できる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。走高跳はテープを持参して使用する。

9 表彰について

- (1) 各種目の入賞者には賞状を授与する。
- (2) 表彰式は1位～8位入賞者に対して行うので成績発表後、本部前に集合する。

10 商標について(商標は「競技会における広告及び展示物に関する規定」による)

- (1) 競技場内に商標名の付いた衣類・バッグ等を持ち込む場合、以下の規定を守ること。
 - ① 上半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 30 cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5 cm以内とする。製造会社の表示は1ヶ所のみとする。ただし、トレーニングウェア上衣、T シャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は 40 cm²以内とする。
 - ② 下半身の衣類・・・製造会社のロゴ:大きさは四角形の面積 20 cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のものを1ヶ所とする。
 - ③ バッグ・・・製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は 25 cm²以内のものとする。
- (2) 競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

11 競技用シューズの規定について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。スパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) 使用するシューズについては、競技規則 TR5.2/TR5.3/TR5.4/TR5.5/TR5.6を適用する。ただしフィールド競技用として小売りされているシューズについては競技規則 TR5.5の適用を除外する。
- (3) 規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。
競技前に確認した場合は、そのシューズの使用を認めない。招集後に規定外のシューズの使用が確認された競技者は、失格の扱いとする。

12 その他

(1) 記録の発表について

アナウンスで発表する。なお、記録発表のアナウンスが行われた時刻を正式発表の時間とする。

(2) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行き、環境美化に努める。

(3) 横断幕の設置は、競技場フェンスに設置すること。

(4) 氏名・所属等の訂正は、本部に申し出る。

(5) 400m までのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走り、減速し止まること。

(6) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は、各自で管理する。

(7) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。

(8) 入場規制について(保護者・監督)

競技場の南側階段よりスタンドへ入る。

競技場内への立ち入りは禁止する。

体調管理チェックシートを入り口で提示し、リストバンドを着用する。

※全国大会(U-16日本選手権)の標準記録を突破した学校の顧問の先生、各所属の代表者は、全国大会受付室(北陸上競技場西側スタジオ)で担当より説明を受けてください。